

## 熊本大地震災害対策本部からのお願い 第4号

全国インマヌエル教会宛です。教会内掲示等、お祈りのためにお使いください。

2016年6月17日

「なぜなら、この奉仕のわざは、聖徒たちの必要を十分に満たすばかりでなく、神への多くの感謝を通して、満ちあふれるようになるからです。」（コリントII 9:12）

熊本大地震のためにお祈りとご協力を頂き、感謝申し上げます。

余震も少なくなってきたと思われていた中、12日には再び震度5弱の余震が熊本を襲いました。被害の報告は入っておりませんが、現地の方々の不安は消えない状態にあります。

今週14日に、災害対策本部の会合を開催いたしました。報告された全国の支援献金の総額は、14日現在までに、5,183,596円となっております。おささげくださった教会、また皆様方に心より厚く御礼申し上げます。

その内、第一次支援金として既報の通り1,903,458円（送金手数料等を含む）、加えて第二次支援金として今回、3,002,268円（送金手数料、現地対策室活動費、交通費等を含む）を支出しました。

インマヌエル熊本教会へは、東日本大震災のときと同様に、全・半壊のご家庭や部分被害のご家庭へのお見舞金をお届けしました。加えて家屋が全壊し、今も避難所生活をしておられる島田貴子師のご実家、島田師の出身教会でもある木山キリスト教会、熊本ナザレン教会、そして全壊した熊本東聖書教会等に、それぞれ支援金をお届けいたしました。現地の情報をさらに集め、必要があれば支援させていただきます。

現在までの活動として、現地対策本部の國重潔志師が、5回ほど現地入りされ、また木山教会での説教などの支援をされています。

去る5月30日に現地の「九州キリスト災害支援センター」（略称「九キ災」）の運営委員会（於 植木キリスト教会）、続いて「熊本地震支援会議」（於 益城の木山キリスト教会）が開催され、運営委員会にはインマヌエルの現地対策室の國重師・吉村師、クラッシュの岩上敬人師が出席され、100名を越える集会となりました午後の会議には上記の3名の他、熊本教会の末弘師ご夫妻、長崎教会の坂田師ご夫妻、現地対策室の阪下師、南日本BAの岩上祝仁師、そして災害対策委員として蔦田が出席いたしました。（九キ災では、一部ではありましたが被災された先生方のリトリートなどもなされたと同いました）。

その後、幾つかの教会と、5月末までベースとなっていた熊本ハーベスト・チャーチ、6月からベースとなっている植木キリスト教会を訪問させて頂き、指導者の方々とお会いし、またお見舞金をお届けいたしました。

災害対策本部・対策委員会 蔦田直毅

### ◇現地災害対策室から

#### 【インマヌエル熊本教会】

地震災害の復旧が少しずつ進むなか、熊本教会ではいち早く業者が修理にとりかかり、教会内部と外壁修理は完了されました。信徒の方々も励んで礼拝をはじめとした諸公会に出席しておられ、7月からは伝道会もいつもの時間通りに開かれる予定です。

林田定住伝道師をはじめ、ご自宅が全壊された教会員の方々は、仮のお住まい入居の抽選にあたるなどし、今後2年間の住む場所の目処が立ちつつありますが、まだ今後の予定が見えない状況におられる会員の方もおられます。また、屋根が損傷しブルーシートで雨をしのいでいる状態の方々もおられます。引き続きお祈りください。

#### 【近隣の教会】

島田貴子先生ご出身の単立木山キリスト教会は、益城地区のクリスチャンボランティア活動の拠点、また必要な物資をご近所の方々にお分けする場を提供しつつ、礼拝など教会の営みも進められています。小田真由美牧師をはじめ教会員皆さまは被災者でありつつ、益城町の方々のために愛の労苦を担っておられます。お祈りください。

熊本のきよめ派教会が連合しての聖会が毎年開催されていますが、今年は会場教会の熊本ナザレン教会の修復が完了していないことから、インマヌエル熊本教会を会場にして、6月19日（日）～20日（月）にかけて連合聖会が開催されます。今年の講師は奇しくも熊本ナザレン教会出身の坂本誠先生です。恵み溢れる2日間となりますようお祈りください。

### 【九州キリスト災害支援センター】

熊本市内の支援活動拠点が熊本ハーベストチャーチから、熊本市北部の植木キリスト教会に移りました。被災地の中心からやや離れていることから、活動も少々難しい面も出てきています。また、これまで拠点場所を提供してきた熊本ハーベストチャーチは、震災から約2ヶ月経って、ようやく自らの復旧活動に取り組んでおられます。これまで熊本ハーベストチャーチが払ってこられた尊い犠牲によって多くの方々が主の恩恵を受けられましたことも覚え、熊本ハーベストチャーチのためにもお祈りください。

現地対策室 國重潔志

### ◇ボランティア活動について

・これまでクラッシュ・ジャパンを通して、あるいは、九州キリスト災害支援センターに直接行って、熊本でのボランティア活動に参加して下さったことを心から感謝申し上げます。ボランティアの方々は、熊本市や益城町、また南阿蘇まで行ってくださり、現地の必要に応じて、たくさんのボランティア活動に携わって下さいました。また医療・看護チームに加わって、専門性を生かしたボランティア活動に参加して下さった方もおられました。皆さまの愛の労に主の豊かな報いをお祈りしております。

・クラッシュ・ジャパンでは初動の支援活動が落ち着いたことで、ボランティア募集を一時停止しました。けれども現地では多くのボランティアの必要があると聞いています。ボランティアを希望される方は、九州キリスト災害支援センターに登録をお願い致します。今後、傾聴や心のケアの部分でクリスチャンボランティアが必要とされると思います。ぜひお祈りをお願い致します。

・熊本では7月16日（土）に傾聴・心のケアトレーニングが開催される予定です。

クラッシュ・ジャパン派遣 岩上敬人

### ◇支援金のお願い

災害対策本部では、引き続き熊本大地震のための「支援金」をお願いしております。本部費と同じ口座宛に、「支援金」と明記してご送金ください。

※教会としての会計の扱いは、収入は「その他の献金」、支出は「他教会支援」の項目です。

まだ先の見えない部分も多くあります。支援金もお受けしていますが、何よりもお祈りを宜しく願いいたします。



熊本ナザレン教会・中出牧夫牧師とインマヌエルからの献金をお届けした髙田直毅災害対策委員長



全壊した益城町の熊本東聖書キリスト教会と教会からのメッセージ



屈んでも入ることのできないほど1階部分が潰れた熊本東聖書キリスト教会と岩上祝仁 B A